

# リハビリ×AI技術で築く未来

近い将来、医療リハビリ現場にも、様々な形でAI技術が導入され、従前のリハビリから大きく変わると予想されます。しかし具体的にどのように変わるのかよく分かりません。そこで、医療実務者とエンジニアの協働で、来たるべきAI技術によるリハビリ（AIリハビリ）の将来ビジョンを考えてみたいと思います。まずはリハビリ現場の実情を知り、現場から工学への期待を知り、そこから工学的な課題を探り、そして未来を考えてみましょう。そこには新たなビジネスチャンスが待っているかもしれません。皆様のご参加をお待ちしております。



日時：平成30年12月6日（木） 14:00～19:00

会場：名古屋工業大学 19号館1階会議室（話題提供の部）

4号館110室 産学官交流スペース（技術懇談の部）

## 【プログラム】

### 14:00～17:00 《話題提供の部》

挨拶 セッションコーディネータ

名古屋工業大学 教授 森田 良文

話題提供1. リハビリ工学、IoT、AI技術と我々の取組みの紹介  
(キーワード：リハビリロボット&デバイス, センシング, モデリング)

名古屋工業大学 教授 森田 良文

話題提供2. 人と作業と機器の未来 ～作業療法士, 未来を語る～  
(キーワード：AI, リハビリテーション, 目的活動)

蘇西厚生会松波総合病院 作業療法士 小森 健司

話題提供3. リハビリ現場の実際、そして工学への期待  
(キーワード：AI, 脳卒中上肢麻痺, 定量的評価, リハビリ支援)

偕行会リハビリテーション病院 作業療法士 戸嶋 和也

話題提供4. 脳卒中後遺障害当事者から工学への期待  
(キーワード：片麻痺, 感覚障害, リハビリ, STPDサイクル, AI技術, 知的財産)

名古屋工業大学 非常勤研究員 若林 宏明

話題提供5. アンドロイドモデルを用いた生体機構の解明  
(キーワード：アンドロイドモデル, 生体機構)

生体機構研究所 佐中 孝二

話題提供6. 実業的AIシステムの概要と利用について  
-2018年6月経済産業省策定の「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」より-  
(キーワード：AI技術, ユースケース, データ流通, 個人情報保護, 機密保持)

(株)アドバンスド・ネットワーキング研究所 鈴木 春洋

自由討論 「AIリハビリとは？」

### 17:20～19:00 《技術懇談の部》

講師と会食しながら、リラックスした雰囲気での技術懇話会です。  
じっくりと時間をかけてざくばらんに話し戴くことで、講師の持つシーズと企業のニーズを繋げる会です。  
情報収集の場としても是非、ご活用下さい！

※ご来場いただく際には、公共の交通機関でお越しいただけますよう、よろしくご配慮の程お願い申し上げます。

【参加申込方法】 会員名(会社名等)、参加者名(所属部門と氏名)、《技術懇談の部》参加の有無、および連絡先(E-Mailアドレス)を記入して、E-Mail または FAX にて以下までお申込み下さい。

【申込み・問合せ先】 名古屋工業大学研究協力会事務局

E-Mail : kyoryoku-pal@adm.nitech.ac.jp TEL/FAX : 052-735-5538

【参加費】 話題提供の部・・・無料

技術懇談の部・・・名古屋工業大学研究協力会 会員：無料 / 非会員：3,000円(消費税込)

【主催】 名古屋工業大学 AI リハビリテーション研究会・名古屋工業大学研究協力会

【後援】 名古屋工業大学産学官金連携機構

## 名古屋工業大学への交通アクセス

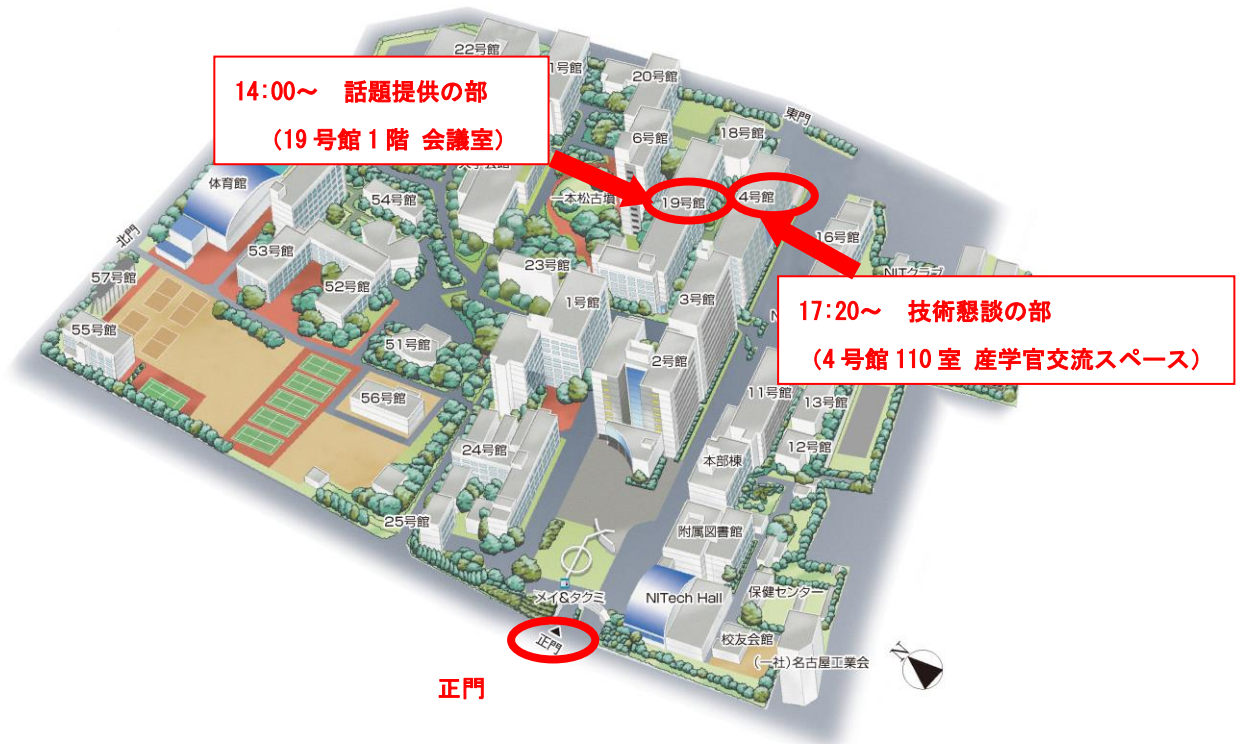
名古屋駅から JR 東海 ⇒乗車時間約 8 分

JR 中央本線「多治見・中津川」方面行きに乗り、「鶴舞」駅下車 名大病院口から東へ約 400m

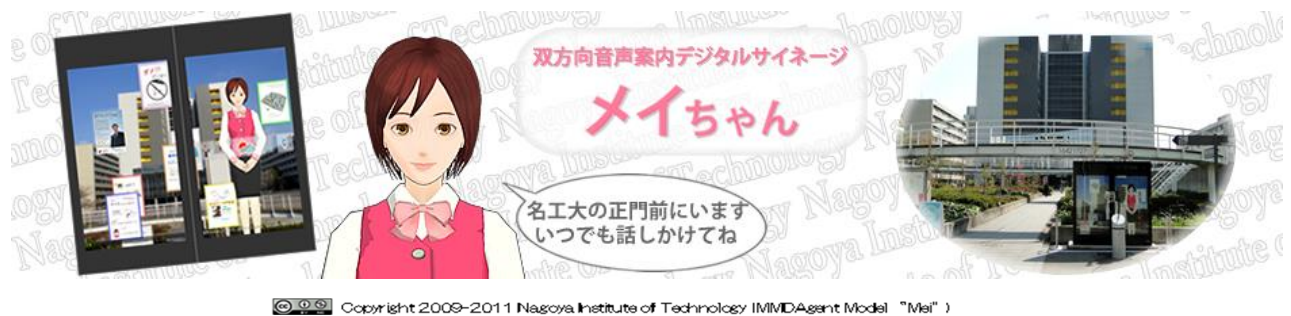
名古屋駅から地下鉄 ⇒乗車時間約 10 分

東山線「伏見」駅乗り換え、鶴舞線「鶴舞」駅下車 4 番出口から東へ約 500m

## 名古屋工業大学キャンパスマップ



正門前 メイちゃんにお尋ね下さい。



Copyright 2009-2011 Nagoya Institute of Technology IMIMDAgent Model "Mei"

## 申込書

名古屋工業大学 研究協力会宛

12月6日の第40回技術懇話会に参加します。

会員名(会社名等):

参加者名(所属部門と氏名):

メールアドレス:

お電話:

技術懇談の部: 参加 ・ 不参加 (どちらかに○をつけて下さい)